



学校教育目標 **自分で考え、行動する右田っ子の育成**
～感動とつながりのある活動を通して～

「良い習慣づくり」の夏休みに！

近年珍しく台風の上陸は有りませんでした、集中的に降る雨に心配させられる日が多かった1学期でした。毎日、信号機の前横断歩道に立っていますが、打ちつける雨や傘を揺らす風に耐え、負けずに頑張つて登校する子どもたちに、「よう頑張ったね。もうすぐ学校だよ。」と声をかけながら、頼もしく感じました。

おかげさまで、大きな事故もなく終業式を迎えられます。4月からのご支援・ご協力を感謝いたします。終業式で、子どもたちに1学期の始めと終わりで、自分がどれだけ成長したか、振り返ってみようとお話しました。節目に振り返り、自分の成長を確かめることは、とても価値のあることです。伸びを大切に、それを励みにさらに大きく伸びてほしいと思います。

始業式で、「自分で考え、行動する右田っ子」を目標にすることと、チャレンジ目標として、「あいさつ、そうじ、かかとそろえ」を頑張ろうとお話しました。そして、終業式では、こんなお話をしました。

あいさつは、昨年度からのあいさつプロジェクトが、1学期も続きました。これはすごいことですね。続けることができるということは、何よりもすごいことです。東門と西門の周りであいさつ運動を実施した皆さん、素晴らしかったですよ。また、毎日信号機の手前に立っていますが、背中からあいさつを受けることが、たくさんありました。それと、道を挟んで学校側の方からも毎回あいさつの声が聞こえるので手を振って答えています。どちらも校長先生が、気がつかない時もあったと思います。それでも、次の日も同じようにあいさつができています。すごいですよね。校長先生は、あいさつをみんな頑張っていると思っています。しかし、保護者や地域の方の声で、「あいさつをしても、知らん顔をしている子がいる。」「あいさつをしない子が増えている。」と言う話も聞こえてきます。確かにあいさつをしてもあいさつが返ってこないこともあります。これから、夏休みに入りますが、出会った人に元気のいいあいさつができるように頑張ってください。

かかと揃えは、6年生を中心に4月中に大体揃うようになりました。6年生は1か月かかりませんでしたね。感心しました。かかと揃えは、達成ですね。よく頑張りました。これからは、揃えることをすっかり忘れる人がいないように、お互いに気をつけて、自然にかかと揃えができるようにしてください。

掃除は、今は、ピカピカクリーン委員会が全校に呼びかけているんですよ。全体的には、もうひと頑張りのようですから、引き続き頑張りましょう。

しかし、掃除ができていない人たちがたくさんいます。掃除時間もそうですが、毎朝、なかよし、わかば、こだま学級のお友達が昇降口を掃除しています。また、雨の日や、湿度が多くて昇降口からホールのあたりが濡れているときには、6年生が何人も、ホールの周りを雑巾がけしています。また、1年生がカップを脱ぐ手伝いをしている人もいます。本当に、すごいなあと、見るたびに、これが6年生（最高学年）になるということなんだと感心させられています。・・・【後略】

上記のように、6年生が中心となって様々なプロジェクトを立ち上げ、右田小をより良くしようと頑張ってきました。最近、活動を広げるため、委員会にバトンタッチして、動き出したプロジェクトもあるようです。2学期以降どのような活動になるか楽しみです。

1学期に身に付けたことを大切にして、有意義な夏休みにして欲しいと思っています。そのためには、毎日の良い習慣づくりを夏休みも続けて欲しいと思います。

学校で頑張ってきた、「チャレンジ目標！」「毎日の朝読書」「毎日のスキルタイム」等、夏休みも、より良い習慣づくりができるように自分で考えて、計画・実行してほしいと思っています。

右田小学校NOW

道徳の授業の振り返りです！(5年生)

私は、自由ということは自分が思うことを思い通りにできることだと思っていました。今日、自由という本当の意味を知りました。確かによく考えると、今まで自由は人にめいわくをかけることもよくありました。その分、責任がつけられること、よく分かります。どんなに自由と自由と周りに人にめいわくをかける自由と自由を過ごそうと思いません。

「自由について」しっかりと考え、気づいたことを文にできることに感心しました。嬉しい学びを紹介します。

私は、自由は好き勝手にいいことだと考えていたけど、そうじゃなくて、人や自分にめいわくをかける中での自由は、きやいけないうことが分かりました。今度からは、自由とかわれたいと思いません。かけられないように気を付けたいと思いません。

引き渡し訓練 7/9 (土)

教室へ兄弟を迎えに！



引き渡し訓練の参加・ご協力、誠にありがとうございました。今回は、不審者が近くに潜伏していて、児童の安全が確保できないという設定で行いました。また、4月の熊本大地震等、日本のどこで・いつ災害が起こるか分かりません。日頃から備えることが大切であると考えています。

交通渋滞等で、ご迷惑をおかけした時間帯もあったかと存じます。ご理解・ご協力に感謝いたします。今回の反省をもとに改善点を考え、次に生かしていきたいと思えます。



不審者対応避難訓練 6/30 (木)



黙って、静かに体育館へ！

河野少年安全サポーターさんとスクールガードリーダーさん(内田さん・中場さん)に、不審者対応避難訓練で指導をしていただきました。(静かに行動できたと、ほめてもらいました。)



**いかに
のらない
おおごえでさけぶ
あすぐにげる
しらせる**

左記のような「知らない人について行かない・車に乗らない。何かあったら、大声で叫ぶ・すぐ逃げる・大人に知らせる。」という【イカのおすし】を教えてくださいました。



上記の様に、不審者が、教職員の話の間かずに校舎内に侵入してくるという設定で訓練が行われました。不審者役の声が教室まで響き、訓練とは分かっていても緊迫感がありました。教職員にとっても、子どもたちにとっても、いざというときに役に立つ避難訓練となりました。

昭和時代の子どもの作文なので平成とは違いますが、この作文を読んで「ドキッ」としてしまいました。この言葉から『4』が二つについていたことを、ほめてもらおうとお父さんのもとへ一生懸命に走った子どもの気持ちが伝わってきます。しかし、私も、子どもの気持ちに気づかずと同じような対応をしてしまったことがあります。(もっと頑張れと励ましたつもりで。)

こんな時は、まず、しっかりと抱きしめてほめてあげる。これが一番のような気がします。少しずつ成長していく子どもたちの伸びを、ともに喜べる大人でありたいと思っています。

通信簿をもらってみると『4』が二つもついていた。ぼくは大急ぎで帰った。お父さんは庭先で牛のせなかをかいていた。「お父ちゃん、これみい、通信簿もらったぜ」というと、お父さんは牛のせなかをかきながら「あつちにおいとけ、あとでみる」といった。ぼくはつまらぬので「ふーん、あとで」といって家の中へはいっていった。

お父さんは見ていたが「なんじゃあ『3』が四つもあるじゃないか」といった。ぼくは、『4』が二つもあるのにも思った。

【東井義雄先生「人生の詩」 野口次男編より】

小学五年 男